

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和2年 2月3日（月）	鎌手公民館	19:00～20:00	9	1	10

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会 （秘書課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本日は新型コロナウイルス感染予防を啓発する意味で、マスクを着用している。今後市民の皆様にも着用を呼びかけることになるかもしれない。鎌手中が東陽中と合併したが、先日参加した「水仙の里かまてウォーク」では、いつも鎌手中がボランティアで参加していた縁で東陽中の生徒が参加しており、統合の良い面が出ていた。三隅益田道路が令和7年度開通の見込みである。本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。「連携の強化」「連携の進化（深化）」に続き本年度も「連携」を掲げ、行政だけでは困難なことについても、企業・団体・住民の皆様とともに進めることで可能になっていくと考えている。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

今年度からこの連携にかかる考え方として新たに、SDGsを取り入れている。これは2015年に国連で採択された、2030年までに世界共通で達成することを目指した17の目標である。その中には「飢餓をゼロに」など日本においては既に達成されているものもあるが、エネルギーや気候変動対策など先進国共通の課題なども含まれており、「パートナーシップで目標を達成」などは施政方針にも通じる考えである。市の施策を世界的視野で見直すことで問題の本質を捉え直すことができ、連携の相手方とも世界共通の目標を共有し、共通の言葉で連携を深めることもできると考えている。今後、第二次総合戦略を進めていく中で、益田版SDGsを掲げていきたい。企業や各自治体も着目し始めており、大事なことと考えている。

・萩・石見空港の利活用

東京線は平成26年から現在の1日2往復が復活し更新されて現在に至るが、羽田発着枠政策コンテストにより2年ごとに見直されており、令和2年下半期以降の発着枠について継続のために申請を行っており、間もなく結果が出る予定である。枠は増えたがエントリーも増えるとみられており、予断を許さない。関連市町・県と力を合わせ、地域発展の計画を国に提示し、2便運航が継続するようがんばっていききたい。搭乗実績の伸びが大変重要であり、平成30年度は目標14万6千人に対し、あと160人というところまで伸ばした。今年度も1月は昨年より伸びており、目標である14万8千人を達成し発着枠を勝ち取っていききたい。

大阪線はここ数年、夏季限定運航となっているが、これも利用拡大に取り組み、路線の維持・拡大の動きを作っていきたい。

・ひとづくりと人材確保

平成28年3月に「ひとづくり協働構想」という人材育成の基本的な計画を定めた。この中で未来・仕事・地域づくりの担い手育成を大きな柱と位置付け、地元で愛着を持って、一人でも多く地元で活躍してもらうために取り組んでいる。先述のかまてウォークを中学生が手伝ってくださったことなど、心強く感じている。行政だけではできないこうした事業を、学校や企業、地域と連携し、継続して進めていきたい。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 国道の歩道について
- ② 国道の登坂車線について
- ③ 運転免許証の返納について
- ④ 地域自治組織について
- ⑤ 放課後児童クラブの拠点について
- ⑥ 鎌手の歴史遺産の活用について
- ⑦ 水仙公園の整備について
- ⑧ 中山間地の交通について
- ⑨ SDGsについて
- ⑩ 街灯のLED化について

- 閉会（秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

〔会場 鎌手公民館 開催日時：令和2年2月3日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 国道の歩道について 要望書提出済みだが、灯台口から鎌手小までの9号線沿いの歩道が狭く、登下校の子どもが危険であり、人身事故も起きている。拡張の要望をしてほしい。</p>	<p>① 市としては国へ要望することになる事項である。先般要望をいただき、毎年の国交省への要望に今年度から追加した。浜田～津和野と合同で行っており、この件は私自身具体的に申し述べている。今後も優先的に行ってもらえるよう要望していく。</p>
<p>② 国道の登坂車線について 2カ所とも、車線で加速した車そのまま町内に入ってくる形になっており、危険である。住民としては廃止にできないかと思うが、どうか。</p>	<p>② 危険については十分認識する。国や警察との協議を要するが、先の話だが、高速道が開通すればかなり緩和されると思うが、それまでの間の対応という意味でも国交省に伝え、今後の課題としていく。</p>
<p>③ 運転免許証の返納について 他市では返納するとバス・タクシー運賃の助成制度などがある。益田市でも今後導入することは考えられないか。</p>	<p>③ 市としては行っていないが、バス運行会社の割引制度がある。この利用状況を見ながら、助成効果などを研究し検討していきたい。</p>
<p>④ 地域自治組織について 公民館を中心に活動することとなるが、非常に手狭である。鎌手中の跡地利用を、少ない費用負担で考えることはできないか。</p>	<p>④ 設立準備を進めていただき感謝している。基本的に公民館の活用をお願いするが、活動が拡大すればそれ以外の場所を検討する必要がある。鎌手中の活用方針がまだ決まっていないため、その際には検討したい。体育館は耐震性の問題があるので、考えるとしたら校舎のみとなる。</p>
<p>⑤ 放課後児童クラブの拠点について 現在拠点がなく、当面西平原の集会所を使用している。新たに小学校跡地を使うという話があったが進展がない。新築は考えられないか。</p>	<p>⑤ 集会所を延長で使わせていただいておりますが、ご負担を考えると小学校等の活用が望ましいが、いま活用できる部屋がない。中学校跡となると安全管理に課題があるので、もう少し詳しく調べて検討する必要がある。</p>
<p>⑥ 鎌手の歴史遺産の活用について 旧山陰道の一部が文化庁の「歴史の道百選」に追加認定された。額田部蘇堤売（ぬかたべのそでめ）屋敷跡などを活用して、水仙公園から灯台へと、地区の歴史を巡る観光向けのルートを作るなどしてはどうか。また中須東原・西原遺跡や七尾城と絡めて観光振興に活用できないか。</p>	<p>⑥ 鎌手の史跡を始め市内には様々な歴史遺産があり、上手く活用していくことが求められる。現在「日本遺産」申請準備中であり、鋭意取り組んでいる。認定されれば発信も容易になり国の補助も期待できるので、他の歴史資産と合わせ観光振興策も洗練させていきたい。</p>
<p>⑦ 水仙公園の整備について 駐車場を広げたり東屋を建てる計画を進めているが、規制があると聞いた。また道が狭いので、拡張されることを期待している。</p>	<p>⑦ 所管や規制の有無が不明である。調べてお知らせする。 ※保安林規制が考えられるが、駐車場部分には規制がない旨2月10日付で公民館に通知し、周知を依頼した。</p>
<p>⑧ 中山間地の交通について 地区では、通院や買い物の便の確保に頭を悩ませている。お出かけバスはほぼ利用がなく、宇治線では小学生が使うぐらいで意味がな</p>	<p>⑧ 非常に重い課題である。道路運送事業法において交通事業者・個人・行政がそれぞれできること・できないことの定めがあり、事業者・住民を交えた会議を定期開催し解決を図つ</p>

<p>い。買物困難者用に転用すべきではないか。また幹線道路を通らないので目的地に行けない。</p> <p>大田市で行っているような、タクシーシェア事業への予算転用も検討すべきでは。</p> <p>⑨ SDGsについて 連合自治会の研修会にも行っているが、市民にどれぐらい浸透しているのか。市はもうすでに取り組んでいるのか。</p> <p>⑩ 街灯のLED化について 補助金が3月期限だと思うが、鎌手でもまだ半分できていないように思う。現状を把握できているか、また延長も考えられるのか。</p>	<p>ている。また、乗り合いバスは民間バス会社と競合してはいけなないので、同じ路線を走れないという事情もある。ご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>⑨ 平成31（令和元）年に初めて施政方針に盛り込み、今後これを軸に市政を進めていく。市がすでに行っていること、これから行おうとしていることをSDGsに関連付けて発信していこうというもの。とはいえまだ浸透していないので、語り合う会でも前面に出してお話ししている。</p> <p>大企業ほどSDGsをビジネスチャンスととらえている。自治体はまだこれからだが、今後の世界にとって重要なことであることは間違いない。</p> <p>⑩ 令和2年度も継続する。</p>
--	--